

2人目（Oさん 30代後半の女性、専業主婦）

■プロフィール

家族構成は、私 36 歳と夫 38 歳、10 歳と 8 歳の娘の家族4人暮らし。

昔はユースホテル部に所属していて、青春 18 きっぷで全国を旅して歩いたが、結婚してからはあまり旅行できていない。子供が小さい間は旅行は出来なかったし、最近でも、フットサル好きの主人がメンバーに属しているフットサル同好会の遠征に家族でついていくぐらいである。

家族はみんな美味しい物好きで、食べ物については計画を立てて食べに行くことも少なくない。特に私は昔からおいしいものには目がなくて、一人でも食べ歩きしたり、ご当地グルメを取り寄せたりしている。おいしいもののためならどこまでも行くよ！と思っている。

仕事が大好きで、事業会社の海外営業部に勤めていた。当時は英語も流暢で、実務が訓練になっていたが、現在は別の職種なので衰えていると思う。

結婚しても仕事は続けて居たかったのだが、一回目の妊娠で流産を経験し、夫と話し合った結果、夫婦ともに子供が欲しいので仕事をやめる決意をした。

現在上の子が 6 歳で下の子が 5 歳なのだが、今の仕事に再就職して 3 年と少し経つ。つまり、下の子が 1 歳半になった時点で働き始めた。本当に子供を生む前後の時期だけ休職していた形になる。とはいえ、前職のような激務は子育てに不向きのため、現在の仕事は週 3 日で、マイペースを作りながら生活の各所を充実させている。仕事も楽しいし、家庭も楽しい、今日のように外に出て世界を広げるのも楽しい。自分は、今とても幸せであると感じている。

今の仕事は人材派遣会社で営業事務の仕事をしており、週に 3 日勤務している。仕事では事務作業はPCだが、インターネットは業務でそれ程使う機会がなく、あまり閲覧することはない。とは言いつつも、つつい私用でチョコチョコ見してしまう。今回の旅のデータも、会社で閲覧するのみならず、20 件ぐらい会社のプリンターで印刷してしまった。

■インターネット利用

私は、ウェブ無しでは生きていけません。

ブログをマイペースで書いているし、ヤフオクでは子供服を大いに販売した。ただし100円～200円で5着など、コミュニケーションやエコの感覚でやっていると思われる。比較サイトはぜんぶ比較しない時がすまないぐらい使う。EC も EC でしか買えないものの買いかたを知っている。たとえば

我が家はフロ桶の形が完全に規格外で、風呂の蓋が壊れた時、方法はオーダーメイドしかないという。リフォーム業者には言われたが、EC サイトでびったりのものが見つかり、あらためてウェブのすごさを感じた。

特に自分なりの情報収集術として、「Yahoo 知恵袋」を活用している。このサービスは本当に素晴らしいと思う。

例えば検索ポータルであれば複数の単語が絡むものを検索する場合、スペースを空けつつ単語を入力したり、and や or などを使ったりするが、広告的な内容も混じるし、望んでいる答えに到達するのは難しい。

しかし「Yahoo 知恵袋」の場合、ずばり疑問に思ったことをそのまま文章で入力して検索できる。「こんなことを聞いても回答があるだろうか」と思うようなことでも、回答済みの場合が多い。

私は個人的にこのサービスは日本人向けだと思う。自分が海外営業の経験があるからかもしれないが、日本人以外の人種のキャラクターとして、質問に対してはイエス、ノーで答える印象がある。これに対して日本人はどこまでも掘り下げたり、詳しく知ろうとしたりする傾向があると感じており、このサービスにおける回答の丁寧さ、詳細さが、私の持論を確信に変えてくれたと思う。

ブログについては週 2 回程度の頻度で更新している。

それほど頻繁ではないが、主婦の生活をテーマにして、日常のエッセンスをブログに書き綴っている。もう 3 年ぐらいやっていて、訪問者数も 1 日に 50 名程度まで成長し、喜んでいる。主婦からコメントやトラックバックが徐々に増えて、ブログのおかげで日本中に友達がいる状態になっている。実際に会って親友になった人もいて、実生活でも情報交換できる形ができている。



Yahoo 知恵袋 質問／回答画面

■旅行のきっかけ

旅行のきっかけは車を買って替えたことである。国の減税や補助金が重なった時期で、今しかないと思い買い替えに至った。

車を買う時点で、「讃岐うどんを食べに行く」という目的が決まっていた。実はこの目的の方が先に

決まっており、買い替えはこの夢の実現が目的であったともいえる。車の買い替えを決めた時期から讃岐うどんのお店について本格的な情報収集を開始し、納車日がシルバーウィークの直前と決まった段階でホテルなどを予約した。

日程や予算などは後から決めるつもりだった。とにかく、車で讃岐うどん巡りをしたかった。



個人運営の讃岐うどんランキングサイト

讃岐うどんのお店については、四国において普通の民家が営業しているものが多く、讃岐うどんツアーは一種の宝探しの要素がある。そのため、讃岐うどん店を紹介する個人サイトが山のようにある。中にはそれぞれのお店について、実食に基づいた感想を書いているサイトや、値段やうどんのタイプなどを詳細に紹介しているものがある。

一方で、大規模な情報サイトも多数存在する。



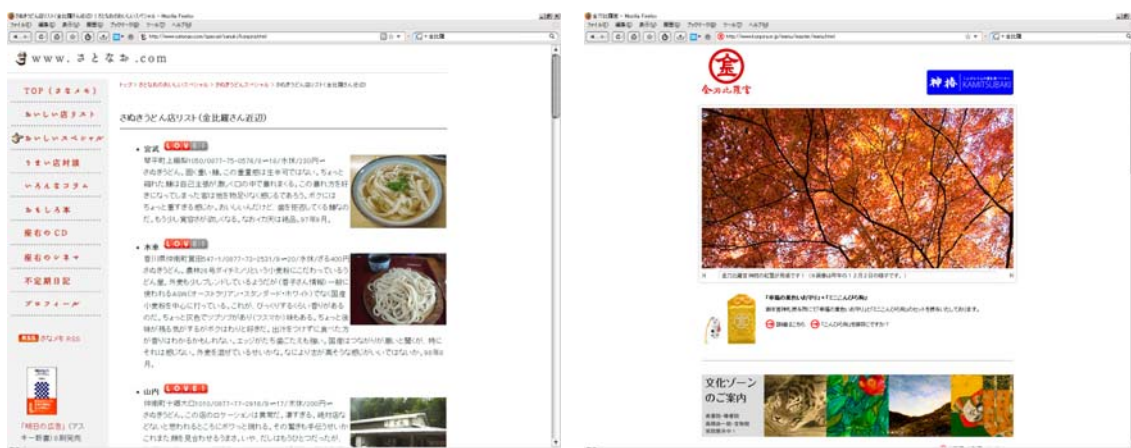
スポンサー付きの讃岐うどん情報サイト

讃岐うどん情報サイト、個人の讃岐うどんログサイト、Yahoo 知恵袋を頻繁に行ったりきたりしながら、店の情報を集め、吟味し、取捨選択していった結果、候補の讃岐うどん店の資料は膨大なもの

のになった。候補選抜の途中「るるぶ」を本屋で立ち読みしたりしたが、やはり広告情報が多くて、情報の比較が難しく、逆に「ウェブで探そう！」と言う気持ちになった。

プリントアウトは主に会社で行い、その分が 60 件、こつこつと自宅で調べたものが 20 件、あわせて 80 件のデータを紙情報にプリントアウトし、その中から、優先順位と実際のうどんツアー経路をシミュレーションしつつ、最終 10 件まで絞り込んだ。

絞り込みの手法としては、お店の周辺地図をグーグルマップでプリントアウトし、机いっぱいにならべて広げて、絞り込んだお店の場所に赤丸をつけていった。この段階まで、主人は基本的に私に店の選定を一任していたが、移動経路の決定については車を運転する主人と一緒に3~4時間程度相談しあい、どのお店はどうしても行きたい、でもここここは離れすぎている移動距離でロスが出るから、このお店の近くで観光もあわせてしよう、ということで、これまた以前から憧れがあった金比羅山、道後温泉なども旅程に組み込んだ。金比羅山に憧れを持ったのはテレビの旅行番組で見たことからである。



金比羅山公式サイトと周辺情報サイト

讃岐うどんツアーというのは私個人からはじまった夢だが、うどんは家族全員が好きだし、せっかく家族で行くのだから皆が楽しい旅行にしたいと思っていた。そのため子供の意見も最初の頃は良く聞いていたが、こどもは道路の勾配や距離、動線などが分からないため、結局最後は私や夫が決定していた。

予定をしっかりと立て、2泊3日で1日3食すべてうどんを食べる、というテーマで予定を設計した。

■旅行中のウェブ利用

渋滞を避けるために、行きは深夜 2:00 に出発した。渋滞情報サイトなどは一切見ておらず、旅好きの自分が長年培ってきた、信頼できる勘、時間感覚である。

インターネットでサービスエリア情報を探し、ご当地グルメの食べられるサービスエリアを選んでおく。サービスエリア検索も Yahoo 知恵袋で検索した。それによって、どのサービスエリアに立ち寄るかなども前もって決めており、ご当地グルメのお土産は、指定日配送で旅行から帰宅したころに自宅に届くように手配した。

一方で、サービスエリアでは自分たちも食べないし、子供につまみ食いを与えないことも決めていた。おなかを減らして食べると、讃岐うどんの美味しさが倍増するから、と説得し、初日から 3 食、予定通りの行程でお店を回った。子供たちは感動していた。こんな美味しいうどんは食べたことがない、と言っていた。

初日の昼過ぎには金毘羅山を観光し、夜は道後温泉で骨休めをした。

旅館については納車の都合で予約が直前になったので、二泊ともばらばらの宿になった。両方価格を抑えたビジネスホテルで、とにかくうどんの食べ歩きに重点を置き、それ以外の要素は二の次とした。「格安ホテル」「四国」で検索し、じゃらんも経由したが、空室でソートがかかっている宿比較サイトがあり、そこを經由して予約した。



宿泊施設情報サイト

旅行中はウェブを使わない、と最初から決めていた。旅行前に綿密に計画を練った分、旅行中は家族間のコミュニケーションを大切にするためである。携帯でもウェブは見ないようにした。車を買う替えるまえは私が携帯電話でナビタイムをりようしていたが、新しい車にはカーナビが搭載されており、その必要もなくなった。

うどんは美味しく、2 日目も大人たちは感動しながらうどんを食べていた。

しかし、子供たちに変化が起きはじめていた。

3 日目、上の子供がうどんを食べたくない、もう匂いも嗅ぎたくない、と言い始めた。二日間、うどんだけを食べ続けたことにより、イベントとして楽しんでいる大人と、食の充実を求める子供に意思

のずれが起きた。

我が家は子供が最優先なので、匂いも嗅ぎたくない、という意味を尊重し、3 日目の讃岐うどんめぐりは急遽中止となった。

この際、私は猛烈に後悔した。こうなることをまったく想定しておらず、讃岐うどん以外四国のおいしいものについて全く予備知識を入れてこなかったのである。ここで携帯電話を使用しウェブを閲覧し始めると、次々と当初の決め事が崩れていくことになり、それは避けることにした。結局、場当たり的にお店に入る結果となる。

最終日は、渋滞を避けるために朝 8:00 から帰路に着くことが決まっていたので、早々に讃岐を後にした。

■帰宅後のデータフィードバック

讃岐うどんのお店は非常に選択を吟味したため、行った店は大体並んでいた。

そして並んでいる前後の人の会話から、新しいお店の名前を聞いたり、直接に会話で「どちらに行きました？」「次はどちらへ？」などのコミュニケーションをとった。子供がいるので話しやすかった部分も大きい。

そして帰ってから、紙ベースに起こした 80 件をチェックし、現地で勧められたにもかかわらず、自分の選考からもれたものがあつたりすると、悔しい思いをした。逆に、自分の選考で行ったお店にも、美味しいことは美味しいのだけれど、期待したほどではなかったケースもあったからである。

現地の口コミで聞いたおすすめ店の中で、自分の候補リストにもなかったお店は、帰ってきてから検索して、リストに加えた。今回の旅行のために蓄積したデータベースや紙の資料は全て整理して保存しており、こんどは子供の我慢の限界も想定に組み込みながら、また讃岐うどんツアーをしたいと考えている。